

初心者のための夢分析入門

— 実際の心理臨床実践そのものを活かすための〈夢〉という視点 —

*当財団(講座)は「臨床心理士」資格取得者の研修機会として、(公財)日本臨床心理士資格認定協会より「短期研修機会(ワークショップ)」の承認を受けております。 <承認期間:平成29年7月1日～平成34年6月30日 承認番号:W29111>

主 催：公益財団法人 明治安田こころの健康財団
 企画講師：川崎 克哲 先生（学習院大学文学部 教授）
 講座日程：全5回

回	開催日	講義内容(予定)	講師(敬称略)
1	9/28(木)	夢とはなにか? ：心理療法の中で夢はなぜ治療的な効果を有するのか。具体例をとおしてその基本的な理論を検討する。	学習院大学教授 川崎 克哲
2	10/5(木)	夢のシリーズから夢を理解する ：ある個人が語る一連の夢にはほとんどの場合、明確にその人の心理的課題(とその解決に向かう動き)が表現される。そのような夢シリーズの見方を通して夢分析、さらには心理療法そのものを検討する。	
3	10/12(木)	夢の文法 ：世間一般ではしばしば「夢はめちゃくちゃなストーリーで意味などない」と言われる。しかし、実際には夢は特有の論理・文法を持っている。この夢の文法を理解することで夢の意味を把握することができるようになる。理論的・実践的な観点から、特徴的な夢の文法のいくつかを取り上げて検討したい。	
4	10/19(木)	夢の解釈(なぞと答え) ：夢の解釈というものはもちろん一義的なものではなく、唯一の正解があるわけではない。しかし、だからと言って、それがたらめでなんでもよいわけではむろんない。では、有意義な解釈の根拠は何なのかと問うならば、ひとつはその解釈の内的整合性であり、今ひとつは(特にその夢をみた人が)「腑に落ちる」ことだと思われる。この観点から夢の解釈を考えたい。	
5	10/26(木)	夢事例の検討 ：夢の報告が中心となった具体的なひとつの事例を詳細に検討していく。	

講義時間：毎週木曜日、午後6時30分～8時(90分)

受講料：10,000円(税込み)

定員：45名(定員になり次第締切りますのでホームページなどでご確認ください)

受講対象：心理・福祉・教育の現場に携わっている方、心理・福祉・教育専攻の大学院生、およびご興味のある方

受講条件：担当講師に氏名・職種などの情報を開示すること

会場：明治安田こころの健康財団 講義室

東京都豊島区高田3-19-10 TEL 03-3986-7021

(JR山手線、西武新宿線、東京メトロ東西線「高田馬場駅」下車徒歩約7分)

精神分析を創設したフロイトが「夢は無意識への王道である」と語っているように、近代の心理療法(とくに深層心理学派)にとって夢はその治療理論及び実践にとって中核的な位置をしめています。実際、夢に関心のある心理療法家は存外多いように感じますが、一方で夢分析というものが習得するにむずかしいもので敷居が高いと感じる人も多いようです。たしかに、夢をどのように理解するのか、夢をどのように実際の心理療法場面で扱えばよいのかということに関しては、一朝一夕にマスターできるものではなく、絶え間ない日々の修練が必要であることは事実です。

しかし、そこには「夢の論理」というものがたしかにあります。その論理の基本的なところを理解することで、夢分析に関するトレーニングの無駄が省け、また、直接には夢が語られないケースにおいてさえも治療者の姿勢や読みに深みが生じて、心理療法の実践に有益さをもたらすでしょう。

本講座では、具体例を挙げながら基礎的な「夢の論理」を学んでいき、どのように夢を実践に活用すればよいのかを検討していきたい。(学習院大学教授 川崎 克哲)